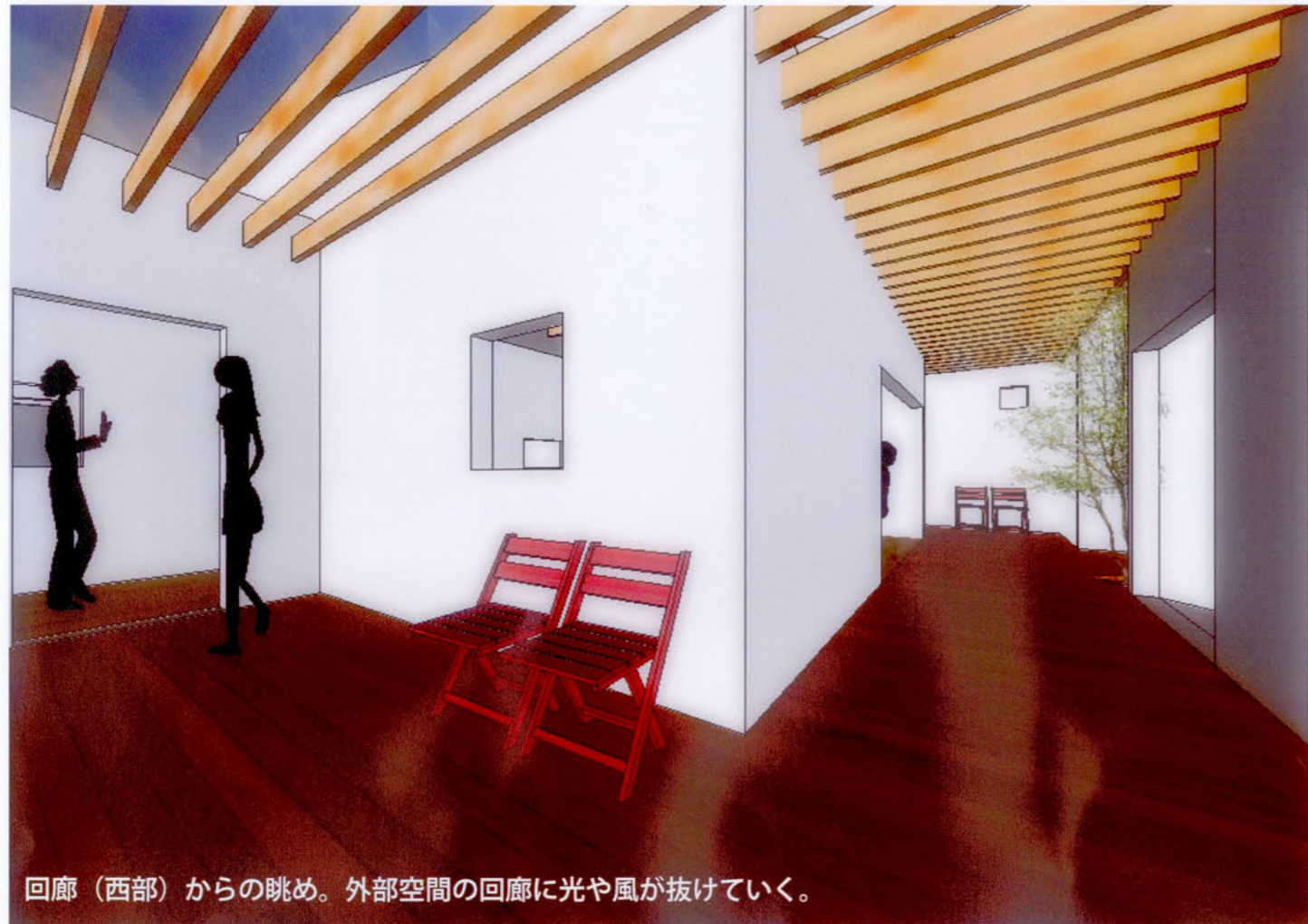
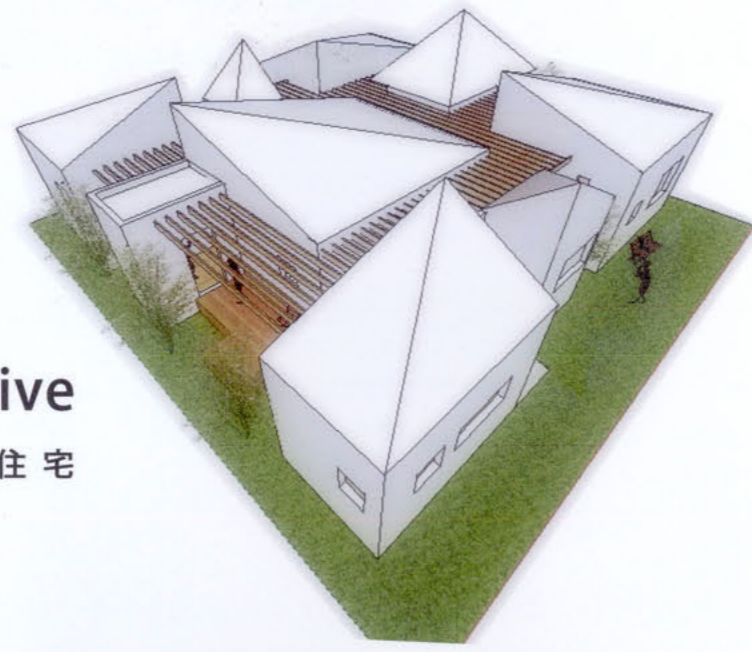
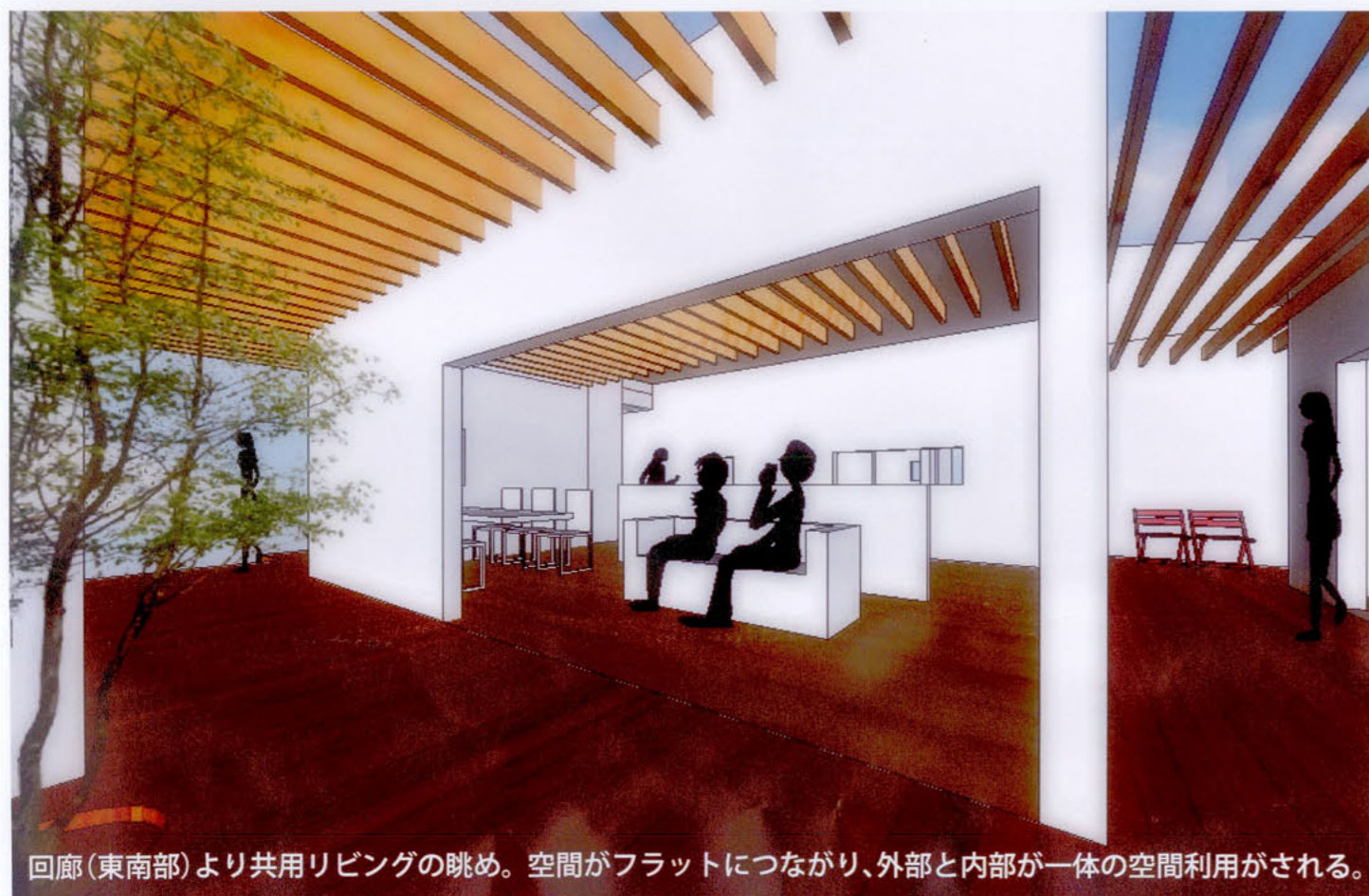


Mini × 4 → FLAT collective

高齢の4世帯が集う平屋の集合住宅

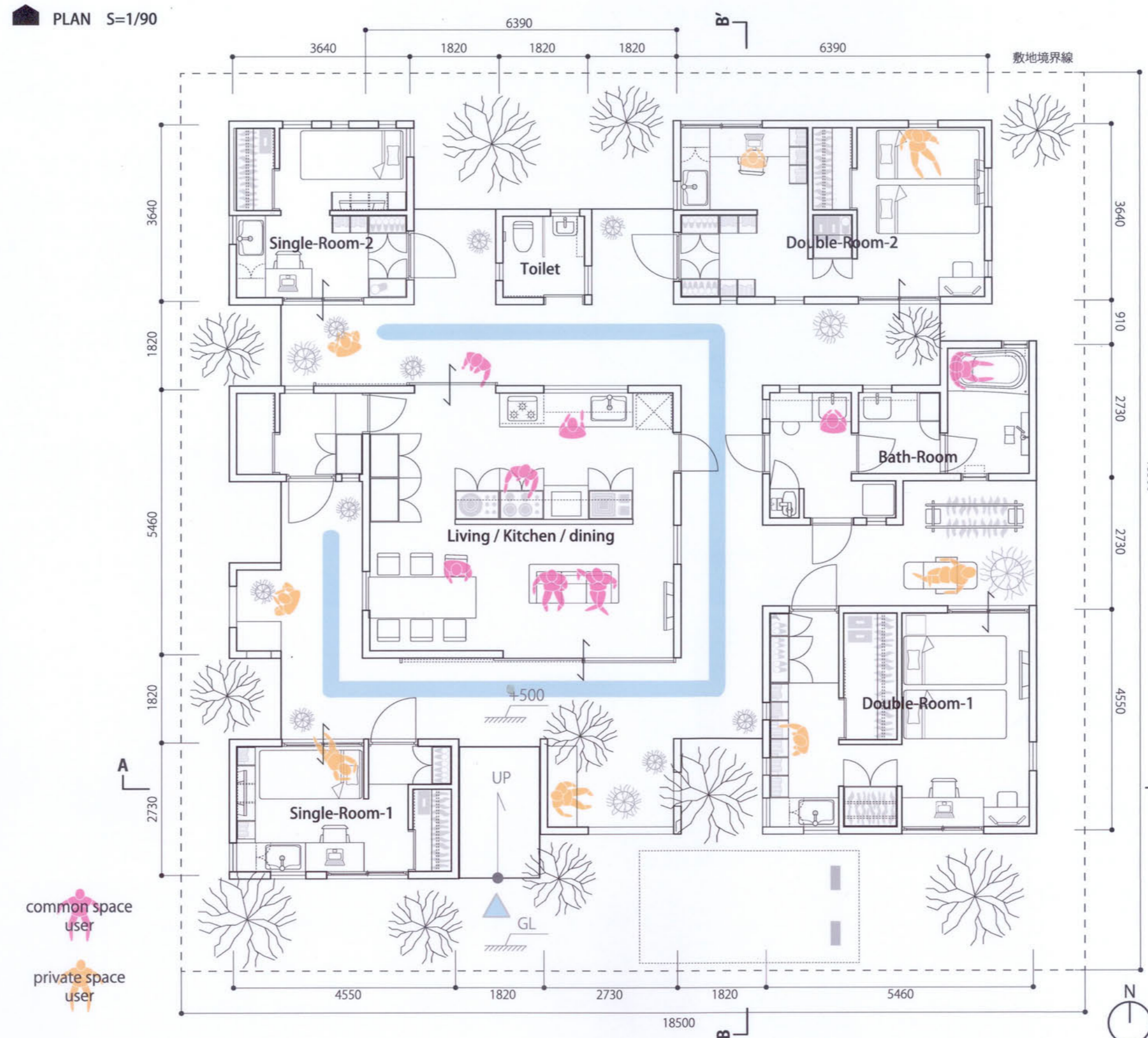


回廊（西部）からの眺め。外部空間の回廊に光や風が抜けていく。



回廊（東南部）より共用リビングの眺め。空間がフラットにつながり、外部と内部が一体の空間利用がされる。

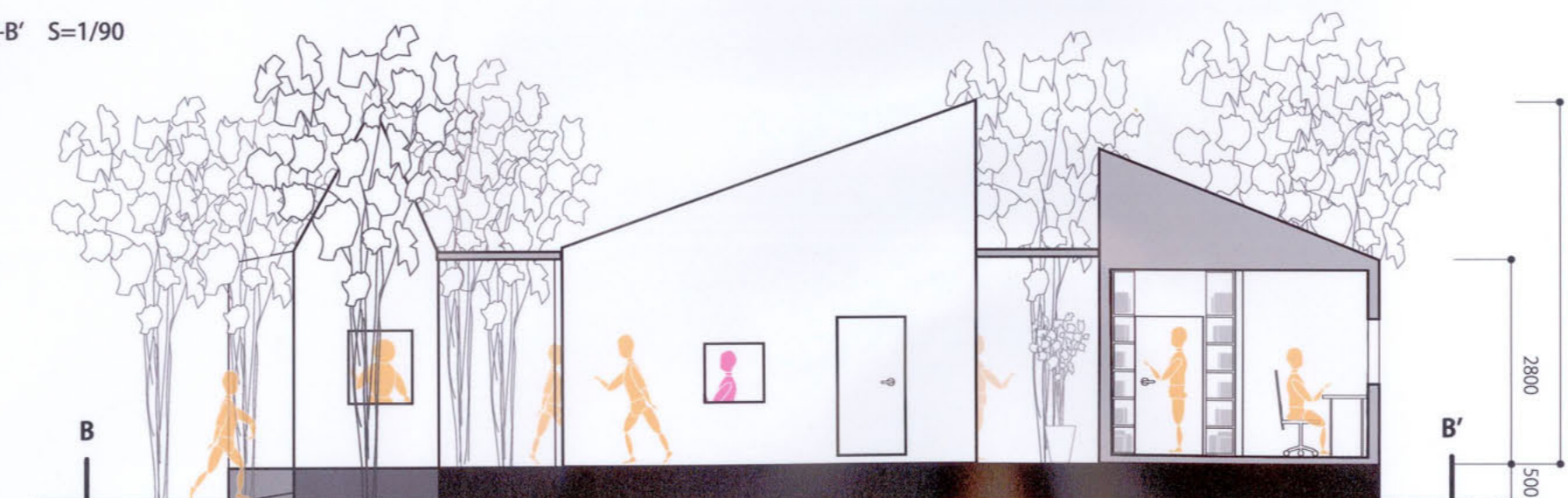
PLAN S=1/90



Section A-A' S=1/90



Section B-B' S=1/90



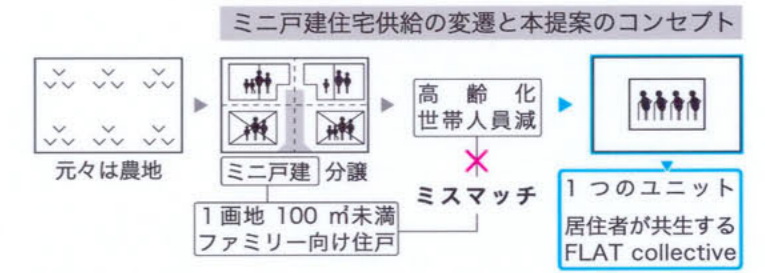
Concept

高度経済成長以降、地価高騰に伴い、都内では敷地を分割した上で分譲されるミニ戸建住宅が多く供給されてきた。都心の通勤圏内で比較的安く戸建住宅を取得できるため、ミニ戸建住宅需要はファミリー層を中心に今なお高いが、

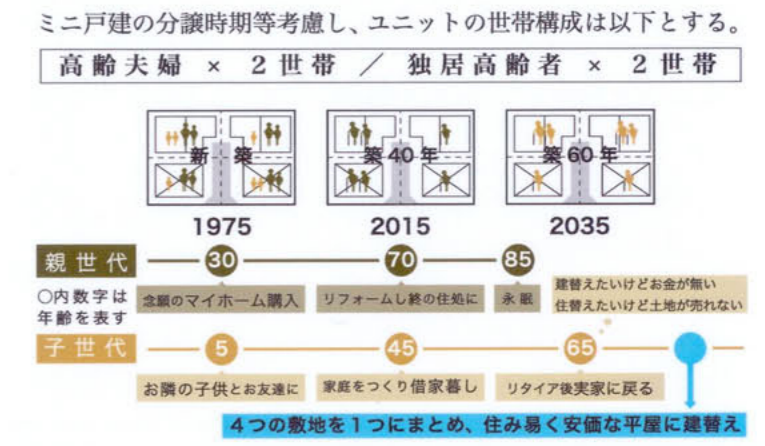
- 居室数は多いが、各居室面積は十分でなく、廊下等も狭い
- 敷地が狭く、十分な庭が無い
- 駅から遠い（最寄駅まで徒歩20分以上）

といった特徴があるため、更なる高齢化、世帯人数の減を迎える将来の住宅需要にマッチしないことが想定される。

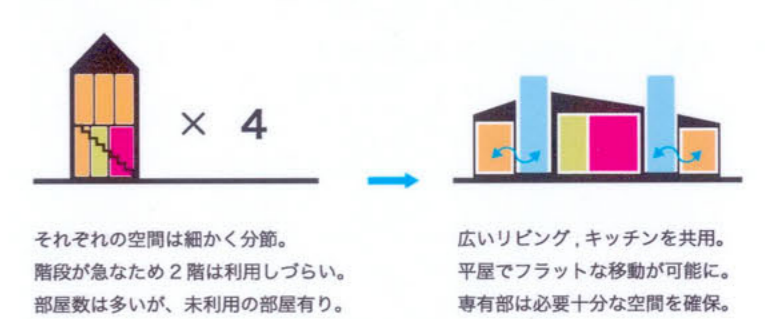
そこで、（狭小な敷地単体ではなく）同一時期に分譲されたミニ戸建住宅敷地群を1敷地として、また居住者も1共同体として捉え直し、高齢居住者（単身者も含）が余生を謳歌することが出来る、平屋の集合住宅『FLAT collective』を提案する。



Model



Diagram



それぞれの空間は細かく分節。階段が急なため2階は利用しづらい。部屋数は多いが、未利用の部屋有り。

広いリビング、キッチンを共用。平屋でフラットな移動が可能に。専有部は必要十分な空間を確保。

Location

23区内でも多くのミニ戸建が供給されてきた足立区内で、最寄駅から徒歩25分の利便性が低い敷地（4棟分譲地）を対象とする。



対象地：足立区内ミニ戸建分譲敷地（約340㎡）

